

野外では

ダニに注意！

福井県内でも、重症熱性血小板減少症（SFTS）のウイルスを持ったマダニが確認されました。

野外で作業を行う場合はダニ類に注意しましょう！

Q：マダニなどに咬まれると どうなりますか？

A：重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に感染する場合があります。

SFTSの主な症状は、発熱と消化器症状（食欲低下、嘔吐、下痢、腹痛など）で、重症化して死亡することもあります。

SFTSには有効な抗ウイルス薬やワクチンはありません。予防が重要です。

また、過去、県内では、マダニが媒介する他の病気である日本紅斑熱や、ダニの一種であるツツガムシによるつつが虫病も発生しています。SFTSだけでなくこれらにも注意が必要です。

Q：予防のためには 何に注意したらいいですか？

A：山林、草地、荒地などに生息するダニ類に咬まれないようにしましょう。

草むらや藪に入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋などを着用してなるべく肌を露出しないようにすることが大切です。

また、マダニなどに咬まれても、痛みやかゆみがなく気づかないことが多いです。屋外活動後は入浴してマダニなどに咬まれていないか確認しましょう。

※マダニ類は、吸血前で3～8mm、吸血後は10～20mm程度の比較的大型のダニです。マダニは春～秋、ツツガムシは春～初夏と秋～初冬に活動が盛んです。



Q：マダニに咬まれてしまったら どうしたらいいですか？

A：医療機関（皮膚科）で処置してもらいましょう。無理に引き抜くと、ダニの一部が皮膚に残ったり、ダニの体液が逆流したりすることがあります。

マダニに咬まれた後、6日～2週間程度は体調の変化に注意し、発熱や消化器等の症状が出たら、早めに医療機関で診察を受けてください。

※受診の際は、医師にダニに咬まれたことを教えてください。



☆もっと知りたい場合は

福井県 マダニ

検索

ホームページをご覧ください☆